

# 株主の皆様へ

第137期 中間報告書

2014年4月1日から2014年9月30日まで



株式会社 豊田自動織機  
TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION  
(証券コード 6201)

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。  
第137期中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申しあげます。

世界経済は、北米においては緩やかな回復が続く一方で、欧州では持ち直しの動きが弱まるなど、地域ごとにはらつきが見られるなか、当社グループは品質第一に徹してお客様の信頼にお応えしますとともに、各市場の動きに的確に対応し、販売の拡大に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から9月30日までの6ヵ月間)の業績につきましては、増収増益を達成することができました。

このような状況のなか、中間配当金につきましては、前期の中間配当金に比べ15円増配の、1株につき50円とさせていただきました。

今後の世界経済につきましては、欧州や新興国における成長鈍化の懸念など、不透明感が高まっております。また、グローバル化の進展に伴い企業間の競争が一層激化し、事業環境の変化のスピードが速くなっているなど、当社を取り巻く環境は大きく変わってきています。こうしたなか、当社は2020年ビジョンという目標をしっかりと見据え、その実現に全社一丸となって邁進してまいります。「お客様視点」の実践に一層努力するとともに、技術開発をはじめ、生産、販売、サービスなど、あらゆる機能で「イノベーション」を起こし、競争力を高めていく所存です。

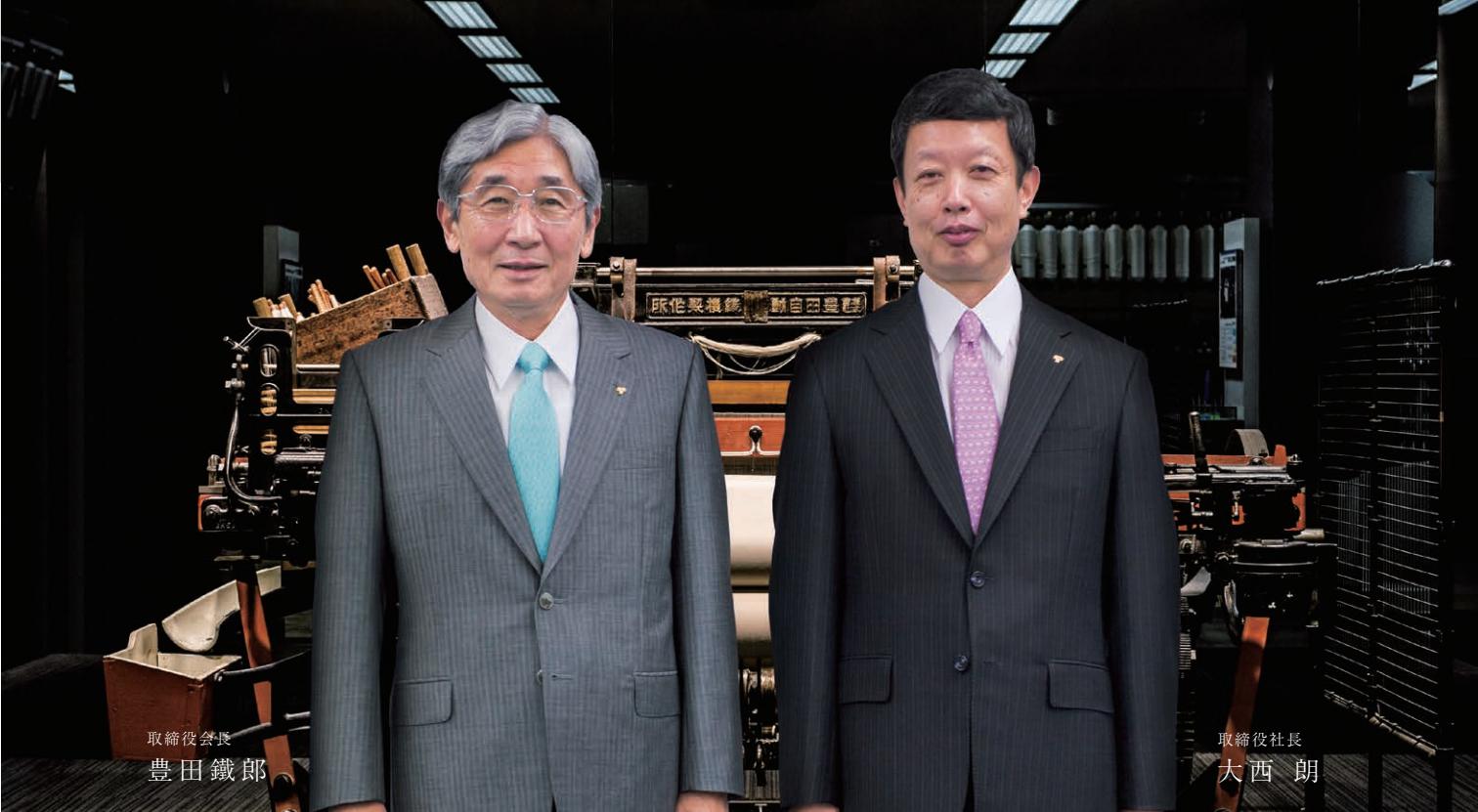
株主の皆様におかれましては、今後も引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

2014年11月

取締役会長 豊田 鐵郎 取締役社長 大西 朗

### 目次

株主の皆様へ	1
連結業績の概況	2
事業別の概況	3.4
連結決算	5.6
連結貸借対照表の概要	5
連結損益計算書の概要	6
中間配当について	
トピックス	7.8
株式の状況	9
会社の情報	9
株式についてのご案内	10



## 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を646億円(7%)上回る1兆460億円となりました。利益につきましては、人件費の増加、減価償却費の増加、原材料の値上がりなどがありましたものの、売上げの増加、グループあげての原価改善活動の推進に加え、為替変動による影響などにより、営業利益は前年同期を49億円(10%)上回る567億円、経常利益は前年同期を222億円(34%)上回る870億円となりました。四半期純利益は前年同期を174億円(40%)上回る609億円となりました。1株当たり

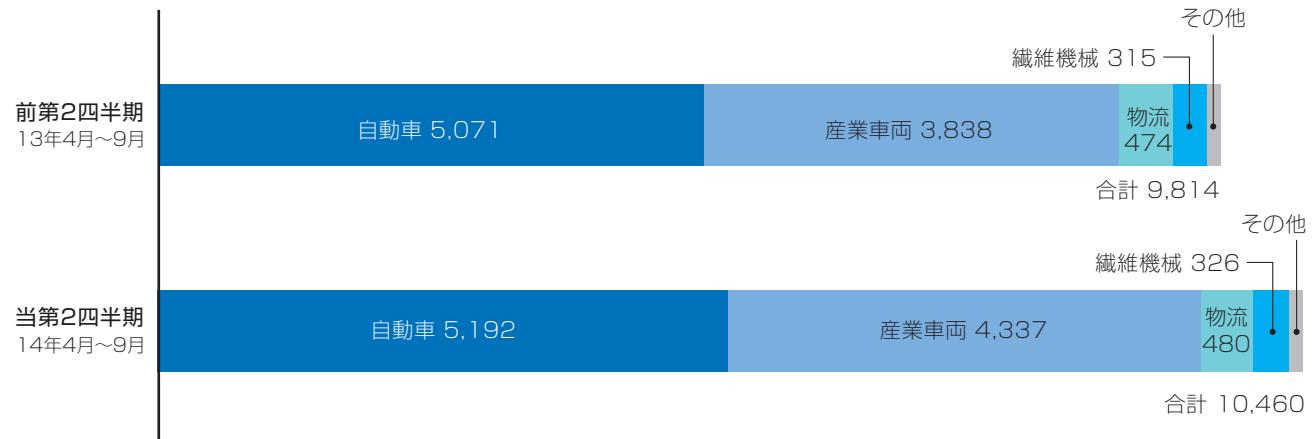
四半期純利益は前年同期を55円上回る194円、また1株当たり純資産は前期末を475円上回る6,115円となりました。

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績などを踏まえ、連結売上高は2兆1,000億円、営業利益は1,150億円、経常利益は1,610億円、当期純利益は1,110億円としております。

なお、為替レートにつきましては、通期で1USD 104円、1Euro 137円を前提としております。

# 事業別の概況

## 売上高 (単位: 億円)



## ■ 自動車

自動車部門におきましては、売上高は前年同期を121億円(2%)上回る5,192億円となりました。

このうち車両につきましては、ヴィッツは減少したものの、RAV4が増加したことにより、売上高は前年同期並みの2,387億円となりました。

エンジンにつきましては、主にKD型ディーゼルエンジンやAR型ガソリンエンジンが減少したことにより、売上高は前年同期を138億円(13%)下回る938億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、北米、中国などで増加したことにより、売上高は前年同期を197億円(15%)上回る1,526億円となりました。



RAV4

KD型ディーゼル  
エンジントヨタプリウス搭載  
カーエアコン用ES14  
電動コンプレッサー

## ■ 産業車両

産業車両部門におきましては、市場は先進国、新興国とも堅調に推移し、グローバルでの拡大が続くなが、当社は各地域において新型モデルの投入や、拡販活動の推進に努めてきました。この結果、主力のフォークリフトトラックが国内、北米および欧州などで増加したことにより、売上高は前年同期を499億円(13%)上回る4,337億円となりました。



新型ジェネオ



ジェネオR

## ■ 物 流

物流部門におきましては、物流受託事業および自動車関連部品の運送事業が増加し、売上高は前年同期を6億円(1%)上回る480億円となりました。



自動車関連部品の物流現場

## ■ 繊維機械

繊維機械部門におきましては、織機は減少したものの、繊維品質検査機器が増加したことにより、売上高は前年同期を11億円(4%)上回る326億円となりました。

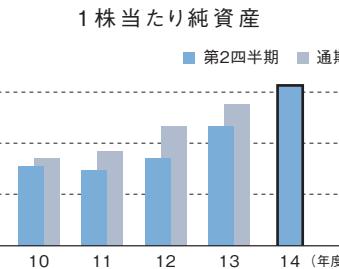


繊維品質検査機器

# 連結決算

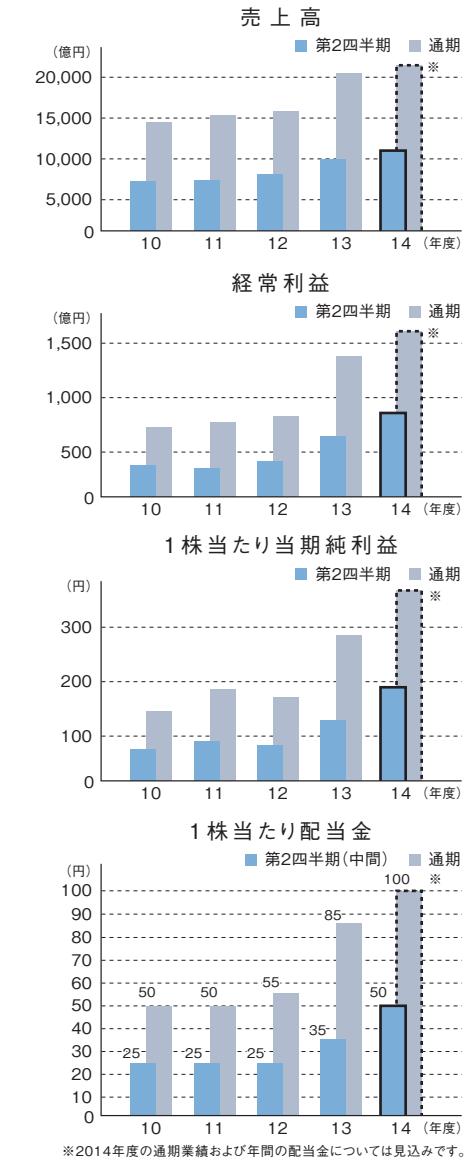
## 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

	前期末 2014年3月31日現在	当第2四半期末 2014年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	872,058	893,578
固定資産	2,926,951	3,131,401
<b>資産合計</b>	<b>3,799,010</b>	<b>4,024,980</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	663,353	681,575
固定負債	1,306,330	1,360,423
<b>負債合計</b>	<b>1,969,684</b>	<b>2,041,999</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	707,062	749,647
その他の包括利益累計額	1,062,404	1,170,530
新株予約権	330	165
少数株主持分	59,528	62,636
<b>純資産合計</b>	<b>1,829,326</b>	<b>1,982,980</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,799,010</b>	<b>4,024,980</b>



## 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

	前第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	当第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
売上高	981,406	<b>1,046,067</b>
営業利益	51,806	<b>56,786</b>
営業外収益	28,710	<b>41,103</b>
営業外費用	15,651	<b>10,834</b>
経常利益	64,866	<b>87,054</b>
四半期純利益	43,530	<b>60,964</b>



## 中間配当について

2014年10月31日開催の当社取締役会決議により、2014年9月30日の最終の株主名簿に記載もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当金をお支払いします。

中間配当金	効力発生日ならびに支払開始日
1株につき50円	2014年11月26日

# トピックス

## 1. 環境性能を一層高めた自社開発エンジン搭載の新型「ジェネオ(GENOEO)」を発売

当社は2014年7月に、1.5～8.0トン積エンジンフォークリフトの新型「ジェネオ(GENOEO)」を国内で発売しました。自社開発の新型クリーンエンジンやターボチャージャーに加え、高効率トルクコンバーターなどを搭載することにより、従来車と比較して最大30%の燃費低減を実現しています。

### 1) 多様な事業を営む強みを活かし、環境性能向上のニーズに対応

燃費をはじめとする環境性能に対するお客様のニーズはますます高まっており、また、国内では世界で最も厳しいレベルの排ガス規制<sup>\*1</sup>の適用が始まっています。

こうしたなか、当社はフォークリフトをはじめ、エンジンやエレクトロニクス、鋳造など多様な事業を営む強みを活かし、商品開発を進めてきました。

### 2) 環境性能に優れた新開発の産業用エンジン3機種を投入

新型ジェネオには、当社のエンジン事業部が中心となって開発し、低燃費と低排出ガスを実現した3機種の新型エンジンを搭載しています。このうちディーゼルエンジンには、当社のコンプレッサー事業部がこれまでに培った技術を応用した世界最小<sup>\*2</sup>の可変ノズル式ターボチャージャーを搭載しています。トヨタ1KD型では、従来型エンジンと比べて排気量を43%<sup>\*3</sup>ダウンサイ징し、燃費を23%<sup>\*4</sup>低減することができました。さらに、DPF<sup>\*5</sup>を用いずに排ガス規制への適合を果たし、フィルターの清掃や交換などのメンテナンス作業を不要とすることで、機台の稼動率向上などのニーズにもお応えしています。

### 3) 安全性と使いやすさを追求

安全と作業効率の向上に貢献する当社独自のシステム「SAS<sup>\*6</sup>」の全車への標準搭載や広い前方視野の確保など、安全性の追求にも力を注ぎました。また、車両設計をゼロから見直すことにより、機台のコンパクト化と優れた操作性を実現するとともに、乗り降りしやすくなつたことでオペレーターの負担を軽減することができました。

今後も当社は、多様な事業を営む強みを活かし、お客様のニーズを捉えた商品をお届けするとともに、業界最大の販売・サービスネットワークで、お客様に最適な物流環境の構築をサポートしていきます。



エンジンフォークリフト  
新型「ジェネオ(GENOEO)」



トヨタ1KD型  
ディーゼルエンジン



形状の変更により  
広い前方視野を確保したマスト

## 2. 国内外の展示会で当社の産業車両をアピール

当社は2014年9月に、東京で開催された国際物流総合展2014に出展しました。省エネや環境負荷物質の低減など環境対応ニーズの高まりをふまえ、当社は新型エンジンフォークリフト「ジェネオ(GENOEO)」をはじめ、開発中の燃料電池フォークリフトやリチウムイオン電池搭載リーチフォークリフトなどを展示しました。

また、欧州では、2014年5月にドイツで開催されたCeMAT 2014展示会に出展し、優れた燃費性能や操作性を実現した新型モデルなどを紹介しました。

今後も国内外の展示会への積極的な参加を通じ、お客様に当社の高い技術力をアピールすることで、販売拡大につなげていきます。



CeMAT2014展示会

## 3. ヴィッツ・RAV4生産工場が品質部門で最優秀賞を受賞

当社は、愛知県大府市の長草工場でヴィッツ(海外名:ヤリス)およびRAV4の生産を行っており、トヨタ自動車(株)のコンパクト・ミディアムクラス車生産の一翼を担っています。2014年4月には、ヴィッツがマイナーチェンジされ、高熱効率・低燃費エンジンの採用により走行燃費25.0km/Lを実現するとともに、スポーティさと上質感を表現した内外装に一新されました。

また、同月、当社がトヨタグループの完成車両メーカーのなかで、品質改善活動を積極的に推進し、品質の向上に真摯に取り組んだことが評価され、2013年度トヨタ品質向上活動表彰式の品質部門で最優秀賞を受賞しました。

今後、SEQCD(Safety:安全、Environment:環境、Quality:品質、Cost:コスト、Delivery:納期)での優位性をさらに強化するとともに、短期間での生産立ち上げや車種・生産量ともにフレキシブルな生産体制を活かして国内でのトヨタ車生産に貢献していきます。



ヴィッツ

## 4. 高い省エネ性能を誇る新型エアジェット織機など当社の繊維機械を紹介

2014年6月、当社は中国で開催されたアジア最大級の国際繊維機械見本市ITMA ASIA + CITME 2014に出展しました。中国国内を始め、インドやバングラデシュなど世界各国から多くのお客様が訪れるなか、当社ブースでは、省エネ性能に優れた新型エアジェット織機JAT810や精紡機RX300の展示・実演を通して、当社商品の基本性能や信頼性・技術力の高さをアピールし、お客様の注目を集めました。



ITMA ASIA + CITME 2014

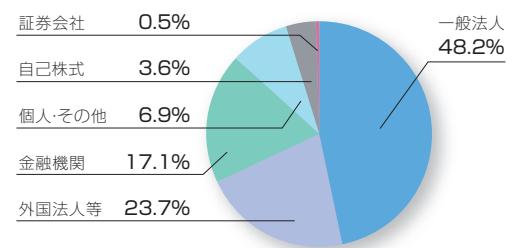
\*1:国内特定特殊自動車排ガス規制2014年基準 \*2:自社調べ \*3:従来機種(15Z, 5,204cc)との比較。 \*4:定格点燃費、従来機種(15Z, 280g/kWh)との比較。

\*5:Diesel Particulate Filterの略。ディーゼル微粒子捕集フィルター。 \*6:ハンドル角、揚高等さまざまな情報を検知し、制御することで、旋回時や荷役時などに優れた安定性を発揮するシステム。

## 株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,100,000,000株
発行済株式総数	325,840,640株
株主数	15,806名

### 所有者別株式の状況



### 大株主の状況

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	76,600
株式会社デンソー	29,647
東和不動産株式会社	15,697
豊田通商株式会社	15,294
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,495
日本生命保険相互会社	6,580
アイシン精機株式会社	6,578
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,568
豊田自動織機従業員持株会	4,521
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	4,514

(注)上記のほか、当社が所有している自己株式11,834千株があります。

## 会社の情報 (2014年9月30日現在)

設立 1926年11月18日 従業員数 連結 51,032名、単独 13,465名

資本金 804億円 本社所在地 〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地 TEL 0566-22-2511(代表)

### ■取締役

取締役会長 豊田 鐵郎  
取締役社長 大西 朗  
取締役副社長 山口 千秋  
取締役副社長 佐々木一衛  
取締役副社長 森下 洋司  
専務取締役 古川 真也  
専務取締役 鈴木 雅晴

専務取締役 佐々木憲夫  
専務取締役 小河 俊文  
取締役 大西 敏文  
取締役 小川 隆希  
取締役 大塚 幹  
取締役 山本 卓  
取締役 福永 恵一  
取締役 張 富士夫  
取締役 隅 修三

### ■監査役

常勤監査役 石川 覚雄  
常勤監査役 野崎 晃平

監査役 三田 敏雄  
監査役 ハスコーグ・マルクス  
監査役 小澤 哲

### ■執行役員

常務執行役員 浅井 裕章  
常務執行役員 藤原 啓税  
常務執行役員 土本 幸久  
常務執行役員 伊藤 天  
執行役員 山岸 俊哉  
執行役員 原田 淳一  
執行役員 岡本 幹彦  
執行役員 岡本 康弘  
執行役員 村田 康弘  
執行役員 水野 陽二郎  
執行役員 川口 真広  
執行役員 豊田 晋

## 株式についてのご案内

### ■事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

### ■定期株主総会

6月

### ■配当金支払株主確定日

3月31日

なお、中間配当を実施するときは9月30日

### ■株主名簿管理人・特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

### ■上記連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

TEL 0120-232-711(通話料無料)

## 単元未満株式買取・買増制度のご案内

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(100株未満)については市場で売買できません。ご所有の単元未満株式の売買をお考えの場合は、以下の制度をご利用ください。

●単元未満株式買取制度 単元未満株式を当社にご売却いただくことができます。

●単元未満株式買増制度 単元株式(100株)にするために、不足分を当社からご購入いただくことができます。お手続きの詳細につきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)までお問い合わせください。

## 特別口座の株式について

「特別口座」の株式は、単元株式(100株)であっても、特別口座のままでは市場で売買できません。

「特別口座」にご所有の単元株式について売買をお考えの場合は、「特別口座」から「証券口座」への株式のお振替をお願いいたします。

お手続きの詳細につきましては、三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

## 株式に関するお手続きのお問い合わせ先

株式に関する各種お手続きの窓口につきましては、株主様の株式の所有状況によって異なりますので、ご注意ください。

ご所有されている株式の口座区分	お問い合わせ先
特別口座	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
証券口座	口座を開設されている証券会社 *

\*: 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

この中間報告書に含まれる将来に関する記述は、現在において入手可能な情報に基づき記載されたものであり、実際の業績は、経済情勢・為替相場の変動等に係るリスクや不確実性により、記述と大きく異なる可能性があります。



TOYOTA 株式会社 豊田自動織機

〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地

TEL 0566-22-2511(代表) FAX 0566-27-5650

ホームページ <http://www.toyota-shokki.co.jp/>